

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ショートステイorange		
○保護者評価実施期間	令和7年1月17日 ～ 令和7年2月10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2 (回答者数)	2
○従業者評価実施期間	令和7年1月17日 ～ 令和7年2月10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2 (回答者数)	2
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	福祉サービスの充実	送迎サービス（40km圏内）、モーニングサービス、ヘアカットサービス、食事やおやつのサービスを行っている。 また県内の児童施設では初のドーム入浴で平日でも入浴を断ることなく実践出来ている。	更に保護者様からのニーズを聴取し、寄り添える支援を目指す。
2	多職種連携支援	個々の疾患や特性に合わせた保育士・看護師・理学療法士等が 沿った療育支援に取り組んでいる。 事例困難例には事例検討会議を開催し、職員一同統一した支援 を目指す取り組みを行っている。	現在は事例困難例のみの検討を行っているが、定期的に月一回程度を目途に開催する。
3	利用者の担当制支援	利用者には各一名の担当職員をつけその利用者に特化した職員 が各月のモニタリングや半年に一回の評価を児童発達支援管理 責任者と一緒に行っている。	個別支援支援会議前で他の職員と情報を共有し、更により良い計画が出来るよう会議前会議を確実に行う。また職員全員が児童発達支援管理責任者の研修を受講できるような体制を作る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ワンフロアでの支援の為、個別個室対応が出来ない。 歩行できる利用者と出来ない利用者が同じ訓練室で過ごさなければならない。	施設上、個室を作ることは不可であるが、サークルやパーティションなどで区切る工夫は行っている。	2つ目の事業所の開所で改善すると思われる。
2	男性スタッフの不足の為、同性介助が出来ていない。	求人募集のかけ方	求人募集のかけ方
3	地域連携交流がなかなか行えていない。	お出かけやSNSなどで活動等は発信しているが、他の事務所との交流は出来ていない。	他の事務所と行事等で交流できる機会を作る。